

根気

～その積み重ね～

麻里布中学校 2年部

第6号

令和7年 7月14日



■学級祭

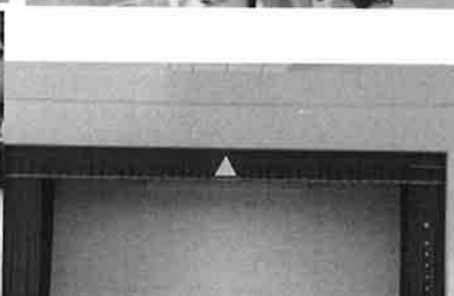
総務委員が中心となり、生徒主催の学級祭が7月7日に行われました。学級祭とは麻里布中学校独自の行事で、クラスの団結を高めるためのレクリエーションを行っています。

今回は「借り人競争」と「綱引き」「紙飛行機大会」で大いに盛り上がりました。

総務委員は、期末テスト後の1週間という短い期間で昼休みの時間を活用して、たくさんの準備をしました。当日も開会式から進行に携わり、慣れない中、よく頑張りました。

借り人競争では「出席番号が4の倍数の人」や「ソフトテニス部の人」「靴下が白色の人」など趣向を凝らした札が全員分用意され、楽しそうに競争していました。綱引きでは、室内用の綱引きを用い、力自慢。1組が最強クラスでした。最後の紙飛行機大会ではそれぞれが、家から持ってきた紙を使って、自慢の紙飛行機をつくり、クラスの男女毎に飛ばしました。思ったより遠くへ飛ばなくて悔しい思いをした人も多かったと思いますが、得点となる「10m以上の飛行」をした紙飛行機も各クラス数機ありました。

どのクラスも仲良く賞状をもらい、楽しい2時間を過ごしました。



今日は学級祭がありました。みんな勝ち負け関係なく楽しんでいたので良かったです。次の学級祭も楽しみです。

今日の3、4校時は初めての学級祭がありました。それは総務委員の人がたくさん準備してくれたからなんだということを感じました。最初から最後までみんなが楽しめるように盛り上げてくれて本当にすごいなと思いました。

学級祭をして、まず総務の人がすごかったなと思いました。準備も大変だけれど当日もみんながどのように動いてくれるか分からないからそれが大変だったろうなと思いました。

■性教育

7月8日、助産師の大和さと子さんをお迎えして、性に関する教育が保健体育の時間を使ってクラス毎に行われました。2年生のテーマは「性の多様性を認め合う」、「デートDVの防止」についてでした。講話や友人との自由トークなどを通して、性に関しての知識を高めました。以下に生徒の感想を掲げます。



自分は、今まで、結構、相手に自分の普通を押しつけていたなと思いました。これからは自分の普通を押しつけずに相手を理解したいです。

この授業で、「自分のことを分かっていない」と感じました。苦手な感情くらいしか分からなくて、自分の好きなのところが分かりませんでした。だから、自分と向き合うという時間が必要だなと思いました。そして、「自分も大切にしながら、相手のこともおもいやる」ということが大切だと感じました。

今まで私は女の子はこうだ、男の子だからこうするべきだという固定概念にとらわれてしまっていたなと感じました。それで誰かを傷つけているかもと思いました。

あまり触れることのなかった話題だったけど、友達などのまわりの人を大切にすることについてわかりました。

今日の話聞いて、人と人との関わり方を改めてよく知ることができました。今は、ジェンダーレスなどの問題もあつたりするので、その人だけに違う対応をしたりするということは相手を傷つけてしまうので、その言葉が相手を傷つけてしまわないか考えて発言することを大切にしたいと思いました。

人と関わることはもちろん大切だけど、どう関わるかが一番大切だと改めて感じました。一人ひとりいろんな考え方や思いがあるから、それを理解しながら生活していきたいです。

■花いっぱい

全校集会で披露されましたが、令和7年度の岩国市花いっぱいコンクールにおいて市議会議長賞を受賞しました。昨年度までは盛夏の8月に現地審査でしたが、今年度から4月審査となり、昨年度の3学期と、今の環境委員が水やりや草取りなどして丹精込めて育てた花が受賞されました。

また、7月1日には、苗植えが行われました。環境委員とボランティア生徒、地域ボランティアの方々とで放課後に約40分かけて植え付けました。今年は梅雨明けが早く、毎日の水やりが大変ですが、自動散水器の力も借りて環境委員やボランティアの生徒が今年も頑張ってくれています。



■避難訓練

7月11日、消防署の方を迎えて、地震の後に理科室から火災が起こったという設定で、避難訓練が行われました。これまで、教室で待機している状態から行っていましたが、今回は家庭科室、理科室などの特別教室にもいる状態からの訓練でした。

消防署の方からの講話では3S（サイレント、セーフティ、スピーディー）に加え、「戻らない」を加えて行動してほしいということでした。

